

# めいいか

令和7年6月27日  
文京区立明化幼稚園

## 思い通りいかないことに出会う

園長 西郡 千晴

プールの季節を迎え、水遊びを楽しむ子どもたちの笑顔が輝いています。そして、水遊びで思い切り発散した後は、静かに体を休めながら七夕飾り作りにじっくりと取り組む姿が見られています。

今年は、誰でも飾れる笹を一本用意しています。個人面談の待ち時間や、降園後お時間がありましたら、保護者の皆さんもお子さんと一緒に飾り作りを楽しんでいただけたらと思います。ご自由にどうぞお楽しみください。

さて、もうすぐ一学期が終わろうとしています。

進級、入園当初の緊張と不安な表情だった子どもたちも、今ではのびのびと楽しんでる様子に安心しています。担任や身近な大人と信頼関係を築き、安心できる場となった幼稚園で、友達との関わりが増え、友達と気持ちを合わせる心地よさや、楽しさが大きく膨らむ一方で、自分のしたいようにできないことが出てきて怒ったり、泣いたりしながら、自分の気持ちを表現する姿が見られるようになってきました。集団生活の中で、子どもたちはたくさん思い通りにいかないことに出会います。



玄関の飾りづくりコーナー

教師は、それを自分の力で乗り越えられることができるように支えていきます。子どもが一生懸命に自分の思いや、言葉にならない感情を表現する場面に出合った時、教師は心の中で「頑張れ」と応援しながら、様々な援助の方法を考えて関わります。じっと見守ることもあります。その子の気持ちを探り、気持ちにぴったり合う言葉を探して問いかけることもあります。気持ちと合う言葉が見つかったら、自分で言うことができるように促すこともあります。相手がいてトラブルの解決を優先させる場合には、「先生と一緒に言ってみよう」と提案することもあります。それも難しければ、教師が代弁してその場を諫めた後、本人の気持ちが落ち着くまでそっと静かに寄り添うこともあります。自分の感情とその場の状況等に折り合いをつけながら、一つずつ乗り越えていきます。そして、友達の葛藤場面は、ほかの子どもたちにとっても大切な学びの場面にもなります。教師とのやり取りをじっと見ている子どもたちがいます。心配そうな表情で見守る子、自分に重ねて疑似体験をしているという子もいます。すべてが子どもたちにとって学びの機会となります。このような体験は、家に帰ってご家族に話すことは難しいかもしれませんが、「そういえば最近怒らなくなった」等お子さんの変化に気が付くことがあるかもしれません。毎日の小さな学びがお子さんの成長の糧となりますようにこれからも幼稚園での教育活動を進めてまいります。

1学期、保護者の皆様にはたくさんのご協力をいただきました。教職員一同心よりお礼を申し上げます。夏休みをどうぞ元気にお過ごしください。